

議 会 だより



小豆島町

No.46

平成29年11月1日 発行



白浪5人男、交通マナーの改善に一役！

秋の交通キャンペーン(中山農村歌舞伎の子役たち)

- 審議議案
一般会計補正等について 2
- 一般質問
11名の議員が質問 3~9
- 住民の声・まちの力 10

9月 例会 定例

9月定例会が9月13日に開催されました。町長から提出のあった報告4件のほか、専決処分の承認1件、人事案件1件、条例案件1件、補正予算案件2件、その他案件6件など、合計11議案が提出され、決算認定を除く10議案を原案通り可決しました。平成28年度の9つの会計決算認定に関しては、決算特別委員会において集中審議されることとなりました。

一般会計 追加補正額 8,259万円

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第2号)

(総務費関係)

選挙費 152万円

福田財産区議会において、議員が欠員となつたため行った補欠選挙の実施費です。

一般会計(第3号)

追加補正予算額

8,107万円

補正後の予算総額 101億4,047万円 となります。

主なものは次のとおりです。

(総務費関係)

庁舎整備関連事業

3,581万円

庁舎移転に伴う、各種ネットワークの移転及び電話設備の構築費です。

Q ネットワークと電話の設備の内容は。

A ネットワークのサーバーについて、全ての改修が完了した後、老健跡地の3階に移設する予定である。電話設備について、新庁舎の電話機はレンタルしている。改修完了後160〜170台購入予定である。インターネ



改修中の旧老健

ットについても再構築する予定である。
Q Wi-Fi整備計画はあるのか。
A 工事が完成してから実施する予定である。

業の実実施費です。



記念事業のチラシ

社会保障・税番号制度

システム整備委託料

383万円

マイナンバーカード関係で、住民票に関するシステム等の改修費です。

(民生費関係)

社会保障・税番号制度

システム整備委託料

182万円

マイナンバーカード関係で、国保や介護に関するシステム等の改修費です。

(農林水産業費関係)

吉野新池浚渫工事

250万円

吉野新池に堆積した土砂の除去を実施する工事費です。

(商工費関係) 新しい産業づくり

事業助成金

600万円

新しい産業づくり条例に基づく起業家に対する助成金です。現在2件認定しており、新たに2件分の増額補正を行います。



今年度認定された起業家

(教育費関係) Bリーグ公式戦

実行委員会補助金

50万円

プロバスケットボールリーグに所属している香川ファイブアローズの公式戦が12月8日・9日小豆島で初めて開催されるに当たり、その実行委員会に対する補助金です。

条例の一部改正

水道事業給水条例の

一部変更

メーター使用料の無料化や、水道料金の減免条件等について定められました。

一般住宅リフォーム

推進補助金

300万円

オリーブ記念館のコンベンションホールの空調機器の更新費です。

オリーブ記念館

空調機器改修事業

886万円

人事案件

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の赤谷勝之氏の任期が平成29年12月31日までとなりましたが、引き続き同氏を推薦することに適任との意見を付しました。任期は平成32年12月31日までです。



赤谷 勝之 氏
(二面)

その他

- ・香川県広域水道企業団の設置について
- ・小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び小豆地区広域行政事務組合規約の一部変更
- ・小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分

財政健全化法に基づく報告

平成30年4月1日より、県下統一の広域水道企業団を設立するに当たり、企業団の設置、関係規約の整備及び水道関連の財産を小豆地区広域行政事務組合から水道企業団に帰属させることに同意しました。

財産の取得

雇用促進住宅内海宿舍
小豆島町苗羽
甲1383番地29
取得金額3,764万円

Q エレベーターの設置については。

A 構造上3台必要のため、費用が約5,000万円ほどかかるので行わない。



雇用促進住宅

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、簡易水道事業、上水道事業、介護老人保健施設事業の資金不足比率について、いずれの数字も問題ないと報告がされました。しかし、介護老人保健施設の跡地利用、新たな一般廃棄物最終処分場の整備、小豆島高校の跡地利用等多くの財政需要が見込まれていますが、普通交付税の算定に用いる国勢調査の基準年の変更による交付金額の減や合併算定特例の段階的な縮小等、収入減が見込まれており今後の財政運営は予断を許さない状況です。



安井 信之 議員

新たな子供支援策について

町「現場の声をよく聞いて検討したい」

質問 国保の波及増に伴うカットの財源をもつて第3子以降の給食費を軽減しては。

答弁 厚生労働省では少なくとも未就学児までの医療費無料化は、

全国的に行われ普及したので、国庫負担金のカットは30年度からやめる方針である。医療費の助成の拡大ではなく、ほかの少子化対策に充てるよう求めている。

ボランティア活動の充実を

町「現場の声をよく聞いて検討したい」

質問 ボランティア保険の拡充をすべきだ。

答弁 ボランティア活動が地域の活性化、地域が元気になっていくうえで必要だと考える。就任直後から協働のまちづくり支援事業という形で、さまざまな分野のボランティア活動の支援施策を進めてきた。

ボランティア活動に積極的に参加してもらううえで、ボランティア保険があれば安心して活動に参加できるので、何らかの形でボランティア保険に入り、ボランティア活動に取り組めるよう、来年度予算編成のなかで仕組みを考えていきたい。



ボランティア活動の様子

質問 次の支援策として備品の買い替え補助を検討すべきでは。

答弁 貴重な意見として検討する。



森 崇 議員

猪対策と梶原町の ジビエ販売について

町「先進地視察もしたが 行政の成功例がほとんどない」

里村共生室とも打ち合わせしたい。

質問 県の鳥獣被害が3年連続して減り、総額1億6,500万円であつた。高知県梶原町では日本ジビエ協会と長野トヨタ自動車が共同開発し「捕獲・処理・肉活用」を一次処理する。今まで捨てられていた捕獲獣の活用が期待でき「ジビエグルメ」の町づくりを目指すという。鳥獣捕獲は1,500頭で小豆島町と似ている。梶原町に学ぶべきだ。この8月には西村の青少年ホームに猪がガラスを割って入り暴れた。

お遍路さんや観光客の被害も考えるべきだ。私達も言うだけでなく高齢化している地域の「猪柵の作成」にボランティアで行く決意で

答弁 鳥獣被害対策は捕獲者の尽力もあり捕獲数も増えているが減少には転じていない。猪の捕獲数は倍増し1,144頭である。ジビエの先進地視察も

小豆島の交通安全について

町「他の地域に比べ警察官が 多い方である」

質問 県が交通事故、違反のワーストと言われ久しいが「県民性」で済ますべきでない。信号近くに警察がいるのを知ってぶつ飛ばす人はいない。一時期でも小豆島の警察を増やすべきだ。県民性も島民性も改善していく

とかが行政の成功例がほとんどない。ジビエに關しては民間の活動もありこれに協力していきたい。ボランティアは町広報でも募集したが申し込みがない。組織が出来れば町の里村共生室と共に地域に入り、取り組む。

答弁 県の10万人あたりの交通事故の死者数がワースト4だ。機会があれば申し入れるが小豆島は他の地域に比べ警察官が多い方である。



浜口 勇 議員

小豆島長命草製品を世界へ 発信しては

町「小豆島の長命草の ブランド化に向けて支援してゆく」

質問 8月24日に香川大学の稲川裕之教授が「これからの健康と健康食品開発」との題で講演があつた。健康に良いとされる長命草のLPS含有量は栽培方法の研究開発により更に高められるので高付加価値化が狙えるとの結論だつた。

栽培方法の研究開発に町の支援を推し進め、既に製品化されている商品はブランド化と広く世に知らしめる広報活動に支援をしてはどうか。

答弁 小豆島の長命草については地元食品業界の皆様が「小豆島食材開発会議」をつくり、

香川大学農学部と共同研究で無農薬で化学肥料を使わず醤油の搾りかすを活用して室生地区で試験栽培に取り組んでいる。沖繩の長命草との違いを出すには稲川教授の提案にあつた健康に良いLPS含有量を増やすためにオリブ堆肥、醤油の搾りかす堆肥を活用するなど小豆島独自の栽培方法の研究開発のため、



【LPS：免疫力を高める成分】



中村 勝利 議員

介護福祉士の待遇をよくせよ

町「職員が出来る限り長く働けるよう、環境づくりに努める」

質問 小豆島町では、施設介護から居宅介護への切りかえを進めているが、居宅介護は家族に大変な負担がかかっている。負担を軽くするためには、ホームヘルパーの支援が重要になってくる。

退職金がない。介護の現場で一生懸命親身になって働く人に、もっと目を向けていただきたい。

これからは、ますます介護が必要な人が増えると思われるなか、ヘルパーの増員が必要であるが、人材確保が難しくなっている。

答弁 住みなれた住宅で高齢者の方が暮らしていただけるためには、ホームヘルパーの支援が必要不可欠である。

人員の確保は喫緊の課題であるが、確保が難しい。待遇改善とかいろいろあるが、職員が出来る限り長く働いていただ

町のヘルパーの待遇は、嘱託職員であり、給料が低い（全国平均年収より35万円低い）

療養福祉専門学校の生徒が地元で働こうと思ふ環境、待遇が必要である。

人員の確保は喫緊の課題であるが、確保が難しい。待遇改善とかいろいろあるが、職員が出来る限り長く働いていただ



ホームヘルパーの活動の様子

るよう、環境づくりに努める。

赤字脱却も大事だが、それより先にニーズにこたえることが大事であるので、いろんなことを分析して、人員の確保、待遇の充実に努める。



中松 和彦 議員

道路維持管理の現状と今後は

町「細やかな対応をしてゆきたい」

質問 荒れた道路を日々利用する者にとっては町行政から見捨てられているような印象を受ける。また、他地域と比して劣っているという意見も聞く。

一層の計画的な対応を切望するが、町としての対応は。

答弁 町から見捨てられていないように、細やかな対応をしてゆきたい。計画的な修繕とともに突発的な補修にも、職員皆懸命に頑張っていることを理解してほしい。

航路運休に象徴される島の衰退について

町「島民が意識を変え、小豆島を元気にする覚悟が必要である」

質問 サンオーリーブシが運行を休止した。利用する町民にとって大変な不便となったが、そこに象徴される町の著しい衰退にどのように対処してゆくのか。

あり、人口減少が最大の課題だ。医療・福祉をはじめとした色々な施策を掲げて努力をしているが全体の底上げと島の魅力・可能性の拡大が解決への道だ。

答弁 直接的には船員の不足が原因だが島全体が厳しい状況にあるという事が背景として

島民が意識を変え、小豆島を元気にする覚悟が必要である。引き続き全力で頑張りたい。



再開が望まれるサンオーリーブシー

ヘルプカード・ヘルプマーク導入について

町「早い段階で取り組んでいく」



柴田 初子 議員

答弁

質問 ヘルプカードとは障がいのある方が常に携帯して日常生活の中で支援が必要になった時、周囲の人に提示して手助けをお願いするカード。ヘルプマークとは人工関節や義足、難病など外見ではわからない人が困った時、支援を受けやすくするマーク。「人と人がつながり支え合い、誰もが安心して希望をもって暮らせるまちづくり」を目指している町にとって必要なものである。導入する考えは。

導入する考えは。



ヘルプマーク

小豆島町でもヘルプマーク、ヘルプカードの普及に取り組み、人となりがつながら、支え合い、誰もが安心して過ごせるぬくもりと希望の島づくりに努めてまいりたい。



（健康づくり福祉課長）
災害支援の面から見ても、スピード感をもって準備作業に取りかかりたい。ヘルプカードを作成するとともに、社会福祉協議会の協力を得ながら、ヘルプカード等についても普及啓発を行う。



坂口 直人 議員

防火水槽と

消火栓の見直しについて

町「必要な箇所には

増設をしたい」

質問 8月12日土曜日に福田地区で火災が発生した。火のもとから消火栓までは相当な距離があり、放水が始まるまでに時間がかかった。

近年住宅事情も変化しているなか、必要な場所に防火水槽や消火栓を設置するように見直してどうか。特に、本町から離れている福田、吉田地区は消防本部等から到着に時間がかかるため、十分な設備が必要だと思うが。

答弁 防火水槽や消火栓の設置については消防署と相談の上、随時設置をしている。防火水槽については、高価な上に相当地が必要である。消火栓につ

いても、充足しているとは言えない。今後とも消防署と相談の上、必要な箇所には増設をしたい。
福田、吉田地区への消防設備の配備については、旧内海町時代から消防署より遠いことを配慮した配備をしている。

福田、吉田地区にかかわらず、団員のほとんどが日中は地元から離れた場所で勤務をし、また地元の自主防災組織も高齢化で、即座に消防活動のできる人材



消防団活動の様子



谷 康男 議員

本町における財政の現状について

町「今年度中に

財政ビジョンを策定する」

質問 小豆島町の人口ビジョンに基づき、未来へ向けての施策や提案がなされているが、人口ビジョンに対応した財政ビジョンがなければ町民には理解がでないのではないか。

答弁 小豆島の未来を見据えた様々な分野におけるビジョンは、いずれも極めて重要であると考えます。人口ビジョン、総合戦略に対応した財政ビジョンが重要であることは間違いありません。

現在、本町が保有・管理する施設について

町「公共施設の在り方を整理し、将来を見据え議論を進めたい」

質問 町が保有、管理している施設について施設の用途と数、耐用年数は。

延長は22.0kmである。旧耐震基準の昭和56年以前に整備した公共施設が全体の45・8%を占めており、全体的に老朽化が進んでいる。

答弁 本町は、学校、公民館など行政需要に合わせた多くの公共施設を保有管理している。学校や公民館等の建物は390施設、道路

また、人口減少等により、今後の公共施設の利用が変化していくことも予想される。将来の財政負担を軽減し、効率的な街づくりを推進していくためには、学校をはじめと



藤本 健夫 議員

住宅宿泊事業法への町の対応は

町「大きな課題、問題がなければ、積極的に取り組みたい」

質問 国会で6月に住宅宿泊事業法が成立し、来年6月に施行する方針である。都道府県や政令指定都市などに届け出た家主は、年180日以内の民泊営業が可能となる。急増する訪日外国人旅行者の受け皿として民間のビジネスチャンスの拡大や地域経済の活性化への期待は高い。

活用で小豆島での観光客受け入れ能力の増大を計れるか。例えば中山の景観を生かした民泊とか、西村のオリイ畑の景色を生かした民泊とか。町の対応は。

答弁 国は規制緩和により自宅の一部や別荘、マンションの空き室を活用できる民泊サービスを推進するに至った。

本町に於いても宿泊客数の確保あるいは多様な宿泊客のニーズへの対応面からも観光振興につながるチャンスであり、空き家

また、人口減少等により、今後の公共施設の利用が変化していくことも予想される。将来の財政負担を軽減し、効率的な街づくりを推進していくためには、学校をはじめと

また、人口減少等により、今後の公共施設の利用が変化していくことも予想される。将来の財政負担を軽減し、効率的な街づくりを推進していくためには、学校をはじめと



空き家を活用した移住体験施設（坂手・黒田邸）



大川 新也 議員

前回の瀬戸芸で残ったものは

町「反省点も含め、

多くのものが残った」

質問 8月に次回瀬戸芸の開催が県実行委員会で承認、決定した。当然小豆島町も参加自治体に名を連ねている。昨年瀬戸芸では多くの来訪者で賑わったことも記憶に新しい。しかし地域によっては反省することも多く生まれたと思われる。例えば草壁地区では、草壁港から内海ダムの間でのライン構想では何も残っていない状態であったと記憶している。そこで、

①瀬戸芸の参加決定はどの段階で決めるのか。

②前回町の瀬戸芸関連総費用額は。

③前回瀬戸芸で残ったものは。



空き家になったBSL (旧JA草壁支店)

答弁 昨年の瀬戸芸では、大勢のお客様にお越しいただき、また地域の皆様のご協力があったからこそ無事終えることができ、関わっていただいたすべての皆様に深く感謝する。一方でご指摘のとおり、たくさんの方の反省すべきことも事実である。

①当町も県実行委員会構成団体となってお

イレについては、現代建築として内外から高い評価をいただいている。

要望

トイレについて、衛生面、防犯面、表示板設置等検討を願う。



防犯面で問題のアートトイレ

議会答弁の重さは

町「誠心誠意を込めた重たいもの」

質問 議会での一般質問には、町長、執行部の長く丁寧な答弁をされているが、その場だけの答弁に終わらず、実行も伴って欲しいと思う。一例であるが「挨拶励行」は。答弁の重さについての考えは。

町「実施市町の状況を把握し、検討」

町立学校の夏季休暇短縮は

質問 町立学校の夏季休暇短縮について、土庄町では1週間の短縮が実施されているが、同一島内で統一できないのか。またメリット、デメリットは。今後の検討は。

答弁 夏季休暇短縮は、町教育委員会判断で実施できる。県内では4市1町で実施している。メリットとしては、新たに授業時間数の確

質問 町立学校の夏季休暇短縮について、土庄町では1週間の短縮が実施されているが、同一島内で統一できないのか。またメリット、デメリットは。今後の検討は。

保ができ、行事等が余裕を持って組める。デメリットは教職員の負担増と子供たちへの影響も考えられる。夏季休暇は、各家庭において子供たちが自然体験や野外活動体験を楽しんだり、異年齢との交流等の絶好の機会であり、子供の成長にとって欠かすことのできないものである。今後、短縮を実施している市町の状況も把握し、検討を行う。

答弁 夏季休暇短縮は、町教育委員会判断で実施できる。県内では4市1町で実施している。メリットとしては、新たに授業時間数の確

答弁 町長の答弁は誠に重たいものだと思うし、誠心誠意を込めて答弁している。大切なことを約束し、答弁したことは実行する。議員だけへの答弁ではなく、町民の皆様への答弁と考えている。挨拶については、ご指摘の通りだと思う。今後努力する。

答弁 夏季休暇短縮は、町教育委員会判断で実施できる。県内では4市1町で実施している。メリットとしては、新たに授業時間数の確



鍋谷真由美 議員

水道事業広域化は問題では

町「水道の広域化は必要なこと」

もある。町民に十分な情報提供もないまま広域化をすすめることは問題だ。

答弁 安全で安心な水を安定的に供給するという水道事業の根幹は、企業団に移行しても変

わらない。企業団としての広聴制度を設け、企業団議会に議員が参加する。構成団体との支援協定で、水道事故等発生時に応急給水等を行うこととしている。町民には広報等で情報提供を行う。

高速艇の早期再開への取り組みを

町「船員確保の協力を行う」

質問 9月1日からの内海フェリーの高速艇の運休は、通勤、通学、通院をはじめ町民生活や今後のまちづくり、観光にも影響する重大な事態だ。早期再開に向けて今後どのように取り組むのか。支援策はないのか。

答弁 退職者を含めた町内在住の船員のリストを作成、8日に内海フェリーの社長に提供した。単独で運航再開を目指すという経営判断なので、船員の確保の協力、町民の利用促進、広い意味で船員の養成への働きかけなど、



運休中のサンオーリーブシー

関係機関と協力したい。補助対象航路ではなく、財政的支援も難しい。

「部落差別解消推進」法は歴史に逆行

町「部落差別の解消を推進するための法律」

質問 昨年12月施行された「部落差別解消の推進に関する法律」は、部落問題解決の歴史に逆行して、新たな障壁をつくり出し、部落差別を固定化、永久化する恒久法であり、その危険は極めて重大だと考える。

行政に義務づけられる実態調査は、旧同和地区と地区住民の洗い出しや行き過ぎた意識調査によって、それ自体が国民の内心を侵害し、新たな壁をつくり出す強い危険がある。法案可決の前に決議された「付帯決議」は「過去の民間運動団体の行き過ぎた言動」が「部落差別の解消を阻害してきた要因」であることを厳しく指摘し、また、国や自治体が行う

「教育及び啓発」や「実態調査」によって「新たな差別を生むことがないよう」強く求めており、これを順守するよう求める。

答弁 教育及び啓発は、新たな差別を生むことがないよう留意しつつ、内容、手法等に配慮しながら取り組みとともに、実態調査の実施に当たっては関係機関と協議を行いながら慎重に行う。

草壁地区の猿対策は

町「関係者会議で検討」

質問 草壁地区では、長年にわたって住みついている猿に住民生活が脅かされ、6月には住民が咬まれて負傷した。なんとか猿の捕獲をすべきではないか。

成果を上げていない。今月中に再度専門家、関係機関、地区関係者による会議を開催し、より効果的な解決方法がないか検討したい。

答弁 これまでに地区関係者、県関係部署、警察署の方らとの対策会議を開催し、また専門家からアドバイスを頂戴し、わなの設置を幾度も実施してきたが、



野生の猿



元気な町づくり

はし 橋 もと 高 のり 宣

(苗羽自治会 総代)

苗羽自治会は、緑の大嶽を背景に世帯数463戸、人口1,015人、5つの地域で構成され、地域内には保育所、幼稚園、小学校等の教育施設・地場産業を支える地場企業・金融機関・ホテル等が建ち並ぶ商業、産業の町です。

当自治会を取り巻く環境は厳しい状況にあり、少子高齢化が進み、空き家が増え、活気のない地域を元気な地域にすることが最大の課題です。

それには、地元のお寺行事を軸とし、地区運動会、夏祭り等の地域行事を見直すことが大切です。今年の夏は、約25年ぶりに苗羽盆踊りを復活させ、たくさんの皆様にご参加・ご協力を

いただき、盛大に行われました。

今後は、地域の皆様の心が弾む楽しんでいただける行事を通じて、小さなことからできることを行政・地場産業のお力添えをいただきながら「元気な町づくり」へ挑戦したいと思っておりますので、地域の皆様方のご指導、ご鞭撻を心からよろしくお願い申し上げます。



苗羽盆踊り大会

私たちは瀬戸芸のウエルカムサポーターの一員として、瀬戸芸をサポートしてきました。瀬戸芸が終わっても、もつと英語をつまく話したい、島のために役に立ってないかという気持ちを持っていました。英語は3歳から6歳までにその音に親しむことで、音を聞き分ける能力が付くと言われております。「それじゃあその年齢の子にぜひ英語の経験をさせてあげようよ」ということからユネスコスマイルキッズがはじまりました。



レッスンの様子

みんな何年も英語学習をしてきているのに、どこかの国から来た人に声をかけられたりすると、緊張するし、困った人を見てもなかなか「May I help you?」が出てこない。なんか恥ずかしいし、その後べらべらと言われると困るしというのが現実でした。でもコミュニケーションとしての会話

をする機会をたくさん持つことにより、恥ずかしいというよりも、話せることが楽しくなってきます。知っているおばちゃん、おじちゃん講師となり、幼稚園や保育所等において、英語の歌や、絵本を使った朗読劇風パフォーマンスで、楽しくレッスンを行っています。

【お問合せ】

会長 高橋 鈴子
事務局 清水

(090-9177-9784)

議員として常に皆さんの声を大切にしているつもりですが不十分さは否めません。遠慮なくご意見をください。さて最近、身近な方が数人「火傷」をしました。聞くと救急車を呼んだり、すぐ病院に行ったりのことでしたが、ぜひそれまでにご家族でやってほしいことがあります。水道を使い火傷で赤くなった部位にシャワーなどで水をかけ「寒い」といっても肌色になるまでつづけることが大切だそうです。周りの人が、すぐに誰にでもできます。その後病院に行きます。不肖、私もその経験者です。

森 崇 記

編集後記

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は

12月中旬

です。

なお、小豆島町議会に政務活動費制度はありません。

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp